

公営企業の抜本的な改革の取組状況（令和5年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
三股町	水道事業	—	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

経常収支比率は継続的に100%を超え維持管理費用等を賄えられない状況であるため、現行の経営体制・手法により健全な経営を継続する。

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
三股町	下水道事業	公共下水道	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
			●				

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等															
実施済	(実施類型)	<table border="1"> <tr> <td>汚水処理施設の統廃合</td> <td>●</td> </tr> </table>	汚水処理施設の統廃合	●	(取組の概要)			(実施(予定)時期)									
	汚水処理施設の統廃合	●															
<table border="1"> <tr> <td>処理場廃止あり</td> <td>●</td> <td>処理場廃止なし</td> <td></td> </tr> </table>	処理場廃止あり	●	処理場廃止なし		し尿及び浄化槽汚泥施設の老朽化により、今後の運用について検討を行った結果、し尿及び浄化槽汚泥を下水道処理施設で処理することとし、新しく施設を建設するよりも、既存の下水道処理施設で処理の方が費用対効果が大きいとの結論に至った。			<table border="1"> <tr> <td>令和</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>年</td> <td>月</td> <td>日</td> </tr> </table>	令和			7	4	1	年	月	日
処理場廃止あり	●	処理場廃止なし															
令和																	
7	4	1															
年	月	日															
実施予定		<table border="1"> <tr> <td>公共下水・流域下水の統合</td> <td></td> <td>公共下水同士 の統合</td> <td></td> <td>集落排水・公共下水と の統合</td> <td></td> <td>特環下水と公共下 水との統合</td> <td></td> <td>その他</td> <td>●</td> </tr> </table>	公共下水・流域下水の統合		公共下水同士 の統合		集落排水・公共下水と の統合		特環下水と公共下 水との統合		その他	●	(取組の概要)			(実施(予定)時期)	
	公共下水・流域下水の統合		公共下水同士 の統合		集落排水・公共下水と の統合		特環下水と公共下 水との統合		その他	●							
●	<table border="1"> <tr> <td>汚泥処理の共同化</td> <td>●</td> <td>維持管理・事務の共同化</td> <td>●</td> <td>最適な汚水処理施設の選択(最適化)</td> <td>●</td> </tr> </table>	汚泥処理の共同化	●	維持管理・事務の共同化	●	最適な汚水処理施設の選択(最適化)	●	建設改良費 7.1百万円 維持管理費 24.6百万円									
汚泥処理の共同化	●	維持管理・事務の共同化	●	最適な汚水処理施設の選択(最適化)	●												
検討中		<table border="1"> <tr> <td>(取組の効果額)</td> <td>31.7</td> <td>百万円(年)</td> </tr> </table>	(取組の効果額)	31.7	百万円(年)	(取組の効果額内訳)			(実施(予定)時期)								
	(取組の効果額)	31.7	百万円(年)														
→	(取組の概要)	(検討状況・課題)															

公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
三股町	下水道事業	農業集落排水施設	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

事業規模が小さく、人員が少ない等の理由から、抜本的な改革検討に至らない。今後も現在の経営方針で進めていくが、接続率向上の取り組みを行い、歳入増加を図ると同時に維持管理の効率化を進め、歳出の削減に務める。今後は、公共下水道への接続についても検討が必要と考える。